



茨城県

9月号 平成24年9月1日
発行人 茨城県広報広聴課
〒310-8555 水戸市笠原町978 番6
TEL 029-301-2128
FAX 029-301-2168
TEL 029-301-1111(代表)



石岡のおまつり(9月15日～17日) 石岡市観光協会 ☎0299(43)1111

ひばり

●いばらきクローズアップ
大規模災害など、“もしも”の時に備えましょう

●コミュニティいばらき
地域医療の充実を目指して～医師確保対策～

●お知らせひろば
風力発電設備見学会 ほか

●トピックス
メディア教育指導員による講演会 ほか

関東の三大祭り 石岡のおまつり

常陸国の国府が置かれた時代に、政治・文化の中心地として繁栄した石岡で行われるおまつりは、天下泰平や五穀豊穡などを願う格式の高いおまつりです。

およそ幅60センチメートル、重さ約20キログラムの獅子頭が、曲に合わせて舞う姿はとても勇壮です。また、面を付けた踊り手が、曲に合わせて面白く踊るお囃子は、具指定無形民俗文化財になっています。

神輿をはじめ、豪華絢爛な山車や勇壮な幌獅子などが40台以上、市内を巡行し、期間中は40万人を超える見物客でにぎわいます。熱気あふれる石岡のおまつりに、どうぞお出かけください。



茨城県知事
橋本 昌



津波の様子(大洗町)



竜巻被害の様子(つくば市)



土砂崩れの様子(常陸大宮市)



A CLOSE-UP
IBARAKI

いばらき
クローズアップ

大規模災害など、“もしも”の時に備えましょう

9月1日は「防災の日」

1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。8月～9月は、台風や風水害が多い時期であることから、「災害への備えを怠らないように」という意味も込められています。

地震、津波、集中豪雨、竜巻などの自然災害は、いつでも起こるかわかりません。県民一人ひとりが災害に関する知識を身につけるとともに、地域住民が互いに協力し助け合うことが重要です。

地域の危険個所の点検や非常用品の備蓄など、日頃から防災対策に取り組みましょう。

家庭で取り組む震災対策！
日頃の備えを確認しましょう

- 家具の転倒防止
- 自宅の耐震診断
- 窓ガラスの飛散防止
- 飲料水や生活用水の確保
- 3日分の非常用食料などの備蓄
- ラジオなどの情報収集手段の確保
- 懐中電灯は家族1人に1個用意
- 卓上用カセットコンロなどの準備
- 自動車などの燃料は余裕をもって給油する
- 最寄りの避難所や避難経路の確認
- 緊急時の家族との連絡方法
- 地域の防災訓練や防災行事に参加



備えるだけでなく、
定期的な内容を
確認することも大切です。

県地域防災計画を改定

東日本大震災の被害状況や課題などを踏まえて、地震・津波災害への対策を強化するため、「県地域防災計画(震災対策編)」の内容を改定し、「地震災害対策計画編」と「津波災害対策計画編」に再編しました。
市町村や防災関係機関などと連携しながら、防災対策の推進を図ってまいります。

改定の概要

地震災害対策計画編

- 燃料対策、帰宅困難者対策の新設
- 多様な情報通信手段の充実
- 災害時要援護者の避難・生活支援の充実
- 女性の視点を含めた物資の備蓄や避難所の運営
- 物資の流通体制、応急医療体制の充実

津波災害対策計画編(新設)

- 海岸保全施設などのハード整備
- 「まずは逃げることを柱とするソフト対策を組み合わせる」津波対策の強化

詳しくは、茨城県防災・危機管理課ホームページをご覧ください。

もしものときの心得

地震が起きたら



- 1 自分の身の安全を図る(机の下に入る)
- 2 火の始末をする(揺れが収まってから)
- 3 非常脱出口を確保する
- 4 火が出たらすぐに消火する(二次災害防止)
- 5 正しい情報を手に入れる
- 6 あわてて外に飛び出さない

竜巻が間近に迫ったら



- 屋内の場合
 - 1 シャッターや雨戸・カーテンを閉める
 - 2 窓から離れ、家の中心部に移動する
 - 3 頑丈な机の下などで身を守る
- 屋外の場合
 - 1 頑丈な構造物に避難する
 - 2 車庫や物置、プレハブなどには避難しない
 - 3 飛来物に注意

気象予報や竜巻注意情報などを確認

津波が起きたら



- 1 まずは高いところに逃げる
- 2 津波の注意・警報や避難勧告を待たない
- 3 徒歩で逃げて危険が去るまで待つ
- 4 港や海岸・川岸には近づかない

台風や大雨のときは



- 1 台風情報などの最新の気象情報を確認
- 2 停電などに備えて非常用品の準備
- 3 むやみに外出しない
- 4 危険を感じたら周囲の状況に注意して避難

自主防災組織を結成しよう

自主防災組織とは

自分たちの地域で、自分たちができる防災活動を行うために結成する組織(町内会や自治会単位での結成が多い)。

自主防災組織の必要性

地域でできること(救助、初期消火など)をすることで、地域の被害を軽減することができる。

自主防災組織の活動

地域の危険個所などを書き入れた防災マップを作る、自治会で実施している年間行事などと併せて防災訓練を実施するなど。



防災お役立ち情報

防災・危機管理ポータルサイト

気象情報や県の発表する防災情報などを集約したホームページです。

「茨城県ポータルサイト」で検索

防災情報「レッドページ」をご存知ですか？

簡単に防災情報を確認できるよう、電話帳の冒頭部分に、防災情報(避難所、非常持出品、緊急ダイヤルなど)を掲載しています。一度ご確認ください。

防災インストラクターを派遣します！

日頃からの備えや災害時の対応などについて、防災インストラクターを自治会や学校、事業所などへ派遣して説明を行っています。詳しくは、県防災・危機管理課までお問い合わせください。

防災情報メール配信中

登録いただいた方へ、携帯メールにて気象情報や避難情報などを提供します。

気象情報

- 警報(大雨、洪水、暴風、波浪、高潮)
- 土砂災害警戒情報 ● 竜巻注意情報
- 地震(震度4以上) ● 津波情報

避難情報

- 避難準備情報 ● 避難勧告 ● 避難指示

登録方法(携帯から)

- ① QRコードを読み込み登録
- ② 県携帯サイト

<http://mobile.pref.ibaraki.jp>

「災害・防災情報」⇒「防災情報メール」から登録



県立中央病院 化学療法センターのスタッフ(右がキャリアコーディネーターの小島先生)



地域医療の充実を目指して ～医師確保対策～

地域医療の充実のためには、医師確保が重要な課題となっています。医師確保のための取り組みについて紹介します。



女性特派員:藤本瑠南

☎ 県医療対策課 ☎ 029(301)3191

医師確保対策を行っています

○本県の深刻な医師不足

県内どこにいても安心して医療が受けられる環境づくりや救急、周産期医療体制などを整備するには、医師の確保が大切です。

しかし、本県の人口10万人当たりの医師数は全国で下から2番目で、特に県北地域や鹿行地域の医師不足は深刻です。

人口10万人当たりの 医師数 都道府県別状況

1位	徳島県	304.0人
2位	東京都	303.7人
3位	京都府	302.3人
	...	
45位	千葉県	170.3人
46位	茨城県	166.8人
47位	埼玉県	148.6人

○医師確保に向けた県の取り組み

- ① 高校生のための病院見学会、医学生などの研修病院説明会
- ② 本県出身医学生向けの修学資金貸与
- ③ 研修医の指導に係る経費の助成など

地域医療支援センターを設置 若手医師を強力にバックアップ!

県では、平成24年4月に、地域医療支援センターを設置しました。

○目的

県内の若手医師が夢や希望を持って地域医療に従事できるよう、キャリア形成を支援します。

○特色

専任の医師であるキャリアコーディネーターを配置し、若手医師の専門指向に配慮しながら、プライマリ・ケアに広い知識と経験を有し、地域医療に貢献できる医師を育成していきます。

プライマリ・ケア：身近にあって、さまざまな健康問題の相談のつてくれる総合的な医療

【地域医療センターの主な取り組み】

1. 若手医師などのスキルアップを支援します。
2. 医師不足地域の病院などへ医師の派遣調整などを行います。
3. 地域医療に従事するために必要な技術習得などの支援を行います。
4. 県内医療事情の相談業務や情報発信を行います。
5. 優れた指導医の養成をはじめ研修体制の充実を図ります。



キャリアコーディネーターとは

キャリアコーディネーターであり、県立中央病院の副院長で、化学療法センター長の小島寛先生にお話を伺いました。

Q どんなお仕事ですか？

若手医師などと面談を行い、個別に研修プログラムを提案します。また、専門医資格取得など将来の方向性のアドバイスなどを行います。

Q どんな医師を育てたいですか？

高度な専門的知識を身につけることも重要ですが、プライマリ・ケアに対応できるジェネラリスト（総合医）として、本県の地域医療に貢献できる医師を一人でも多く育てていきたいと思っています。



化学療法センターのスタッフとの打合せ

私たちの身近な頼れるお医者さん

「生いき診療所・ゆうき」（結城市）の荒井康之院長の訪問診療取材しました。

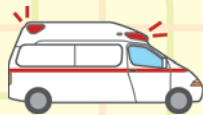
荒井先生は、県のキャリアコーディネーターとして活躍する一方、地域医療の総合医として、外来診察や訪問診療などを行っています。

患者さんの自宅に伺うと、荒井先生は、「何か心配なことはありませんか」と患者さんの目線で笑顔で話しかけます。フレンドリーな雰囲気は、患者さんに安心感を与えます。

「患者さんからありがたうと感謝されるのが一番。どんなに忙しく大変な時も、その言葉があるだけで頑張れます。また、在宅医療という選択肢があるということを皆さんに知っていただきたい。これからは地域に根差した総合医療が重要ですよ」と話してくれました。



優しい笑顔で診察



9月9日は救急の日

救急業務や救急医療について理解と認識を深めましょう。

小・中学校向けの救急医療普及講座をご利用ください

救急医療適正利用の啓発や応急手当などの普及を促進するため、「救急医療普及啓発推進事業」を実施しています。救急医療普及員が、各学校に出向いて、救急医療や救急車の上手な使い方について理解を深めていただくための講義や、AEDの使い方、応急手当の方法などについての実技指導を行います。

お問い合わせ (土日祝日を除く)

茨城県医師会
救急医療普及啓発推進事業担当
☎029(241)8446
県医療対策課 ☎029(301)3186

茨城子ども救急電話相談

お子さんが急な病気で心配なとき(すぐに受診させたほうがよいのか、様子を見ても大丈夫なのか)、ご相談ください。看護師がお答えします。

相談日時

毎日の夜間 18:30～23:30

休日の昼間 9:00～17:00

※休日:日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

電話番号

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から

短縮ダイヤル #8000

すべての電話から ☎029(254)9900

医療機関のご案内

休日や夜間に救急対応している医療機関をお探しのときは、「救急医療情報コントロールセンター」にお問い合わせください。オペレーターが、お近くの医療機関を24時間体制でご案内しています。(歯科の案内は行っておりません。)

電話番号

☎029(241)4199

お知らせ ひろば

- ☎ ……問い合わせ先
- ☑ ……申し込み先
- HP ……ホームページ
- ✉ ……Eメール



催し物

風力発電設備見学会

日時▶9/30(日)10時~10時40分
(雨天時実施)
会場▶県鹿島下水道事務所(神栖市)
締め切り▶9/21(金)



☎・☑ 県鹿島下水道事務所
☎0299(96)2617 ㉠1099
㉠「鹿島下水道事務所」で検索

拉致問題を考える国民の集い

北朝鮮による拉致問題に対する国民の関心を一層喚起し、世論を高めていくため国民の集いを開催します。
日時▶9/15(土)13時30分
会場▶県民文化センター小ホール
申込方法▶FAX、ハガキ、メール
締め切り▶9/3(月)
☎・☑ 県福祉指導課
(県人権啓発推進センター)
☎029(301)3135 ㉠3138
✉ koso5@pref.ibaraki.lg.jp

募集

大好きいばらき県民債 9/13(木)発売開始!

県立高校の改築や身近な道路の整備などを進めるため、県が発行する債券です。
ぜひこの機会にご購入ください。
発行額▶35億円(お一人様1万円~500万円)
利率▶5年国債を上回る利率
※9/12(水)金融機関店頭・県ホームページで公表予定
☎・☑ 常陽銀行、筑波銀行、水戸信用金庫、茨城県信用組合、水戸証券、結城信用金庫の県内各窓口
㉠ 県財政課
☎029(301)2363 ㉠2369

身体障害者の方の県職員等採用試験

締め切り▶インターネット:9/7(金)
郵送・持参:9/10(月)
試験日▶9/30(日)
受験資格▶昭和57年4月2日~平成7年4月1日までに生まれた方
その他の受験資格、申込書の入手方法など詳しくは下記まで。
☎・☑ 県人事委員会事務局
☎029(301)5549 ㉠5559
㉠「茨城県人事委員会事務局」で検索

いばらきデジタルコンテンツ・ ソフトウェア大賞2012作品募集

IT社会を担う人材の育成と、デジタルコンテンツやソフトウェア技術に対する関心を高めることを目的に作品を募集しています。
募集作品▶
○デジタルアート作品(静止画、動画、音楽など)
○ソフトウェア作品(ビジネスソフト、ゲームソフト、教育ソフトなど)
○ホームページ作品(インターネット上で公開しているもの。ブログ、ツイッターは含まない)
締め切り▶9/20(木)
☎ 県情報政策課(茨城県高度情報化推進協議会事務局)
☎029(301)2546 ㉠2598
㉠「いばらきデジタルコンテンツ」で検索

「いばらきの魅力再発見」しましょ!

住んでいるのに意外と知らない郷土、身近すぎて見過ごしてしまう地元のお宝。子どもたちが自分の住む地域について、見たり、聞いたりして発見した郷土自慢をまとめた作文及び学校ホームページを募集しています。優秀作品は、「いばらきの魅力」として県教育委員会ホームページの「地域自慢」に掲載します。
締め切り▶10/19(金)必着
☎ 県生涯学習課
☎029(301)5322 ㉠5339

民間防災拠点再エネ等導入補助金

防災拠点となる民間施設へ、災害時などに最低限必要な機能を維持するための再生可能エネルギー及び蓄電池の導入を支援します。
補助額▶対象経費の3分の1(特定被災地方公共団体区域内は2分の1)、上限額2千万円。
締め切り▶9/28(金)
※買取制度による売電を行う場合は、対象になりません。詳しくは下記まで。
☎・☑ 県環境政策課
☎029(301)2939 ㉠2949

案内

「すこやか妊娠ほっとライン」を開設!

予期せぬ妊娠や産みたいけど育てられるか心配など、さまざまな悩みに応じます。不安を一人で抱えこまず、気軽に相談ください。助産師・保健師など専門スタッフが話を伺います。
相談窓口▶茨城県看護協会
☎029(221)1124(いにしんしん)
相談時間▶10時~18時(月~金)
※9/3(月)から相談開始
☎ 県子ども家庭課
☎029(301)3257 ㉠3269

すこやか妊娠ほっとライン

妊娠に関するさまざまな相談に応じます。
ひとりでも悩まず相談してみませんか?
月~金/10:00~18:00(土日・祝日・年末年始除く)
029-221-1124
※相談は無料です。ただし通話料は利用者のご負担となります。
茨城県・公益社団法人茨城県看護協会

はじまる つながる
いばらきインターネットテレビ

いはキラTV
www.ibakira.tv

10月1日本格配信スタート!ただいまプレサイト公開中!!

いはキラTV(ティービー)は、茨城県が運営するインターネットテレビです。
☎ 県広報広聴課 ☎029(301)2129 いはキラTV事務局 ✉ contact@ibakira.tv

社会貢献活動

被災された皆様が目でも早く
安心して暮らせるように...

私たち住環境再生機構は、新潟中越地震及び中越沖地震を経験しそこで多くの家屋の復旧・復興のお手伝いをしてきました。その経験を生かし東日本大震災で被害にあった皆様の家屋の復旧・復興の支援をいたします!

※尚、本来の活動運営の目的である年金受給者・障がい者・介護世帯・経済的困窮者の方には一定額無金利融資、及び一定額助成金制度のご利用もできます。

Jukan 特定非営利活動法人(NPO法人)
住環境再生機構
http://www.jukankyo.jp

☎: 0299-94-7631
東関東支部サテライト: 茨城県神栖市平泉 8-6
新潟本部: 新潟県新潟市西区上新米町 1丁目 4-16
TEL 025-211-7900

● ● ● 9月1日~20日は、高齢者の交通事故防止強調運動期間です ● ● ●

おでかけガイド



県天心記念五浦美術館

〈震災復興支援展覧会〉生誕110周年記念 ウォルト・ディズニー展

10月8日(月)まで〔会期中無休、金・土は午後8時まで開館〕

数々の苦難を乗り越えて成功を手にしたウォルト・ディズニー。彼の生涯、そして本邦初公開の作品資料や映像などを通して、復興を目指す人々に夢と希望のメッセージをお届けします。



シャーロット・クラーク製作のミッキー人形とポーズをとるウォルト(1930年)
©Disney

北茨城市大津町椿2083 ☎0293(46)5311 ㊟5711

県立歴史館

企画展 新たな国民のたから —文化庁購入文化財展— 9月30日(日)まで

文化庁の事業の一つに、貴重な国民の「たから」である文化財が散逸したり、流出したりすることを防ぐための事業があります。この事業により、近年国が購入した文化財を中心に紹介します。



山城国花背別所経塚群出土品
(文化庁保管)

水戸市緑町2の1の15 ☎029(225)4425 ㊟(228)4277

県自然博物館

第55回企画展 不思議いっぱい!貝たちの世界 —蝸牛から烏賊・蛸まで— 9月17日(月)まで

貝のなかまは「軟体動物」というグループに分類され約13万種が知られています。さまざまな環境に適応した貝のなかまの生態や形態などを紹介します。



坂東市大崎700 ☎0297(38)2000 ㊟1999

美術館・博物館・歴史館の利用案内 (県立図書館は除く)

●各館の開館時間/午前9時半~午後5時(入館は午後4時半まで) ●月曜休館(祝日の場合はその翌日) ●満70歳以上の方(健康保険証、運転免許証などを持参してください)、障害者手帳等をお持ちの方と未就学児は入館無料。 ※歴史館では高校生以下は入館無料。

各施設については

ひばり おでかけガイド

検索

県近代美術館

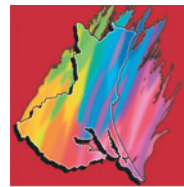
所蔵作品展 日本の近代美術と茨城の作家たち
9月17日(月)まで

企画展 茨城県芸術祭美術展覧会
9月29日(土)~10月14日(日)

県、県教育委員会、茨城文化団体連合などが主催する全県的な公募展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・デザイン・(書・写真)各部門の入選作品を展示します。

※()の部門は県民文化センターで展示。
※9月18日(火)~28日(金)臨時休館となります。

水戸市千波町東久保666の1 ☎029(243)5111 ㊟9992



茨城県芸術祭美術展覧会

県陶芸美術館

企画展 ふしぎ!たのしい!ゲンダイトーゲイ
—親子でめぐる やきもの図鑑
9月23日(日)まで

動物をモチーフとした作品や、ユニークな形をしたオブジェなどの作品78点を紹介します。不思議で楽しい作品に出会える展覧会です。会場内に仕掛けられたクイズに答えながら、やきもの図鑑の世界をひもとく試みです。

中村牧子「ティーカップブードル」2009年 作家蔵



笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内) ☎0296(70)0011 ㊟0012

県つくば美術館

個展やグループ展などを行っています。
つくば市吾妻2の8 ☎029(856)3711 ㊟3358

県立図書館

起業・経営無料相談会

…9月1日(土)・22日(土)予約制

三の丸寄席「秋晴寄席」

…9月8日(土)15:00~16:00

行政書士「暮らしのお困りごと」無料相談会

…9月14日(金)16:00~19:00

放送大学ライブラリー講演会「生活習慣と肝臓病」

…9月15日(土)14:00~16:00

ライブラリーパソコン教室パソコン入門編

…9月29日(土)・30日(日)13:30~16:30 申込制(9月7日締切)

※2日間の講習

水戸市三の丸1の5の38 ☎029(221)5569 ㊟(228)3583

■開館時間/火~金9:00~20:00 土日祝9:00~17:00

■9月の休館日(3、10、18、23~28日)

茨城空港から行く
気軽な空の旅。

沖縄

札幌

上海

神戸

10/1~
運航継続
決定!

茨城空港発着
お得なツアー情報は
茨城空港 ツアー 検索

茨城空港利用促進等協議会
TEL: 029-301-2761

7月4日 水戸市

メディア教育指導員による講演会



県では、青少年が携帯電話などでインターネットを利用する際の危険な側面や、家庭の役割などを伝える「茨城県メディア教育指導員」を養成しています。

その指導員による講演会が水戸市立三の丸小学校で開催され、参加した児童や保護者は熱心に聴き入っていました。

7月22日 阿見町

県立医療大学 オープンキャンパス

県立医療大学でオープンキャンパスが開催され、約1,000人の方が訪れました。参加した皆さんから、「ガイダンスでは先生の学問への熱い思いが伝わった」、「各学科で体験学習ができ、いい勉強になった」などの声が聞かれ、進学への実感がわいた様子でした。次回は10月28日(日)、学園祭と同時開催です。



7月28日～8月2日 大子町ほか

来て・見て・触れる 森づくり体験



7月28・29日、8月1・2日、森林湖沼環境税活用事業の一環として「来て・見て・触れる森づくり体験」が実施され、392名の親子が参加しました。

治山事業の現場見学や間伐、測量などの森づくり体験を通して、森林の働きや重要性について、理解を深め合いました。



いばらき
至高の逸品

生産量日本一 秋の味覚「茨城の栗」

秋の味覚の代表といえば、私は栗を思い浮かべます。皮をむいて丸ごと食べるのもおいしいけれど、新米で作った栗ご飯も大好きです。

笠間市で栗を栽培している金子祥一さんに、お話を伺いました。栗には、丹沢、筑波、石鎚など多くの品種があり、それぞれ甘さなどの味の違いや大きさから、加工品にするなど、用途が違います。また、栗は、ビタミンC、カリウム、食物繊維などが豊富な果物としての性質と、ビタミンE、鉄分などが豊富なナッツ類、さらにでんぷんを豊富に含む穀物としての特徴を併せ持つ、大変栄養価が高い食べ物です。

「果皮に張りりと光沢があって、ずっしりと重たい栗がおいしいです」と金子さん。食欲の秋、おいしくて栄養たっぷりの茨城の栗を、ぜひ、味わってみませんか。

(いばらき女性特派員:塚田 貴子)



実が大きく味がいい茨城の栗

〈取材協力〉 ©JA茨城中央 ☎0296 (77) 5101

9月の広報広聴案内

9月のテレビ放送

【ライブいばらき「とれたてワイドいばらき」内で放送】

NHK県域デジタル 毎週木曜日(午前11:30～11:54のうち約8分間)
県や市町村からのお知らせや生活・イベントなどの情報を県庁や合同庁舎から中継で紹介。

【磯山さやかの旬刊! いばらき「若大将のゆうゆう散歩」内で放送】

テレビ朝日 毎週金曜日(午前10:50頃 2分30秒間) 毎朝(午前5:50～6:00の間) ※ダイジェスト版CM
いばらき大使の磯山さやかさんが県内の観光スポットなどを歩きつつ茨城の知られざる魅力を紹介。

9月 7日 茨城のぶどう(石岡市) 9月21日 東京で味わう茨城の旬2(東京・表参道)
9月14日 アールスメロン(茨城町) 9月28日 茨城の栗(笠間市)

※放送内容は変更される場合があります。

ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/>

県政・ホームページなどへのお問い合わせ・ご意見・ご提案は email@pref.ibaraki.lg.jp

ツイッター @ibaraki_kouhou

県からのお知らせをつぶやいています。

県政についての意見・要望などは

県民相談センター(県庁舎3階) ☎029(301)2147 内2169

または、次の地方県民相談センターへ
常陸太田合同庁舎内 ☎0294(80)3322 鉾田合同庁舎内 ☎0291(33)6123
土浦合同庁舎内 ☎029(822)7026 筑西合同庁舎内 ☎0296(24)9074

※法律相談(電話要予約)は、県庁舎3階の県民相談センターで受け付けています。

次回「ひばり」10月号の新聞折込みは9月30日(日)です。